

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年10月15日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 511「わが友、主イエスは」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 396「十字架のかげに」	一 同
教会学校	「ジョーンズ氏、天国へ行く」	牧 師
讃 美	聖 歌 586「いかにけがれたる」	一 同
聖書朗読	創世記4:1-7	
奨 励	創世記の福音(第5回)	牧 師
主 題	「カインとアベル」	
讃 美	聖 歌 201「罪咎をゆるされ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 376「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記 第5－9章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】
10/15(日) 聖日礼拝
/16(月) 牧師:
/17(火) 東京出張
/18(水) 10-15: OBS
/19(木) 10:00 聖研
/20(金)
/21(土) 13-16 子供
オープンハウス



- 【折りの課題】
- ① 家族の救いのために
 - ② 礼拝に来れなかった人々のために
 - ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「緑の牧場は労苦の作品」
(フィリップ・ケラー著「羊飼いが見た詩篇23篇」p.52)

羊は悪名高い、くせのある動物である。放っておかれると、いつも同じ道を通り、それ以外の所を通らないほどになる。同じ丘で草を食べて、そこを荒野にしてしまう。自分の土地をよごして、病気や寄生虫で汚染されるまでにする。こうして多くの非常にりっぱな牧羊場だった所が、草の食べ過ぎ、粗末な管理、羊の所有者の無関心、無知のために、回復不能になるまでに破壊されてしまった。

羊によって引き起された土地の荒廃を見ようとするなら、スペイン、ギリシャ、モンボタミア、北アフリカを、そして米国の西部やニュージーランド、あるいはオーストラリアなどの一部さえも含めて、そこを通過してみるだけでよい。

これらの国々のある地域は、以前は生産力のある草地であったが、次第に荒野になり下がってしまった。余りにも多くの羊が、あまりにも長い間、粗末な管理の下に置かれると、そのあとには、貧困と災害のみが残される。

羊は「どこでもうまくやっていける」と一般に考えられているが、これは大きな間違いである。本当のところは、それとまさに正反対である。羊ほど綿密な取扱いと、細々とした指示を必要とする動物は、ほかにはない。ダビデは彼自身牧者であったが、きびしい体験から、それを直接学び取っていたに相違ない。羊の群を繁栄させ、持主がよい管理者として高く評価されるためには、羊を行き届いた管理と指導の下にいつも置いておかねばならないことを、彼が知っていたことは言うまでもない。

緑の牧場はただ偶然に出来るのではない。緑の牧場は途方もないほどの労働と時間、そして土地利用の技術の結果として出来たのである。緑の牧場は、荒れた岩地を切り開き、灌木や根、切り株などを引き抜き、深く耕し、注意深く整地をし、特別な穀物や豆を植え、水を通し、羊の食餌となる牧草が生育するように念入りに手入れをした結果なのである。